

## 提案概要（下関市都市公園乃木浜総合公園）

| 評価項目                         | 指定管理候補者<br>(応募団体②)  | 次点の応募団体<br>(応募団体①)   |
|------------------------------|---|--|
| 施設の性格や目的等に合致した方針があること        | 本公園の設置目的を理解し、施設の維持管理能力、地元に根ざし利用者目線を持つ運営能力及び公平性を担保した管理運営能力を集結し、「市民の生活と未来をつなぐ総合拠点」として発展させることを最大の使命とし、管理運営を行う。   | 「緑を育て、共感でつなぐ。乃木浜は、まちのつなぎ手」という基本方針を掲げ、本公園の設置目的及びビジョン等を達成し、最小の経費で最大の効果が得られる魅力的な事業展開により、住民の利用促進及び拡大を目指す。  |
| 市民の平等な利用が確保されていること（法令遵守・公平性） | 「平等かつ公平な利用確保」のため、次の事項に取り組む。<br>（1）機会の平等<br>ホームページやSNS等を活用し、利用方法、申込方法及び利用料金等の情報を市民をはじめ多くの利用者に提供する。<br>（2）サービスの平等<br>ユニバーサルデザインの考えに基づき、子供、妊婦、高齢者、障害者の誰もが利用しやすい施設を目指す。<br>（3）判断の平等<br>予約方法や判断基準を明確にするため、各種ルールを定め、公平に業務を行う。 | 「平等かつ公平なサービスの提供」のため、次の方策に取り組む。<br>（1）平等・公平な施設サービスの提供<br>公園利用者に対し、不当な利用制限や優遇措置を行わない。<br>（2）多様性を尊重する平等・公平な利用者対応<br>人権研修等の実施により、職員・スタッフの接遇対応を標準化し、利用者間の不公平感を解消する。<br>（3）平等・公平な情報発信<br>誰でも理解しやすい施設情報の発信・共有に務め、利用者間での情報格差が生じない管理運営を目指す。 |
| 施設の効用が最大限発揮されていること           | ウォーキングイベントやインクルーシブフェスタ、防災啓発イベント等自主事業の実施並びに地域団体や学校、保育園、幼稚園による行事や授業での活動等の誘致を行い、利用促進及び利用拡大を図る。   | デジタル（公式ホームページや公式Instagram）とアナログ（施設パンフレットや周辺エリアでのPR活動）の両媒体を活用し、日々創意工夫を凝らした広報活動に取り組むことで、市民の興味関心を引き出し、来園きっかけを創出する。  |
| 団体の経営状態                      | 共同事業体として問題はない。  | 共同事業体として問題はない。   |

| (経営の健全性)              |  |  |
|-----------------------|--|--|
| 施設管理運営の実施方針（合目的性）     | 「幅広い年齢層が安心して利用できる環境整備」、「スポーツ活動の拠点としての役割を果たす」、「市民にとって身近で誇れる公園作り」、「下関市スポーツ協会及び各種スポーツ団体との連携」、「下関市との連携」という基本方針に基づき、管理運営を行う。  | 「公平・平等な施設利用の提供」、「健全な指定管理業務の実現」、「市民視点の住民サービスの提供」、「安定的かつ計画的な人員配置」、「透明性の高い業務管理や経理」、「安全性の確保と危機管理体制の構築」、「地域社会に配慮した持続可能な取組み」、「適切・適正な予算管理」に基づき、管理運営を行う。   |
| 事業への具体的な取組み方（機能性、独創性） | <p>(1) 運営管理<br/>           「安全で快適な環境を提供すること」及び「適切な事務処理」を最優先に位置づけ、許可手続き、利用料金の取り扱い、使用調整、ホームページ・SNSの管理、経費節減を行う。</p> <p>(2) 維持管理<br/>           年間の事業実施計画に基づき、適切な維持管理を行う。特にスポーツ施設においては、「利用者視点での品質向上」、「安全性と快適性の確保」、「機能と景観の両立」、「継続的な改善と柔軟な対応」に務める。</p> | <p>(1) 運営管理<br/>           公正・平等な施設の運営管理、ホスピタリティあふれる接遇対応、有料公園施設及び器具の使用料の徴収、管理運営業務の標準化と継続性を図る取組み、情報開示請求への対応を行う。</p> <p>(2) 維持管理<br/>           天然芝グラウンド及びグラウンド・ゴルフ場の芝生の維持管理、スポーツ設備機器及び物品の点検等、その他施設・設備の保守管理、遊器具等の安全点検、清掃業務を行う。</p> |
| 施設の運営体制や組織（責任性、実効性）   | 各構成団体の強みを活かすため、共同事業体内部にサービス部門、運営管理部門、維持管理部門を設置し、適切に管理運営を行う。さらに、より良いサービスを提供できるよう、普通救命講習、接遇マナー研修、個人情報保護研修、サービス向上研修、クレーム対応研修等を行う。   | 全職員・スタッフの役割と責任の所在を明確にし、総括責任者を中心とする指揮命令系統の一元化を図る。また、万全なバックアップ体制を構築する。<br>全国の施設運営でのノウハウを活かした人材育成や研修計画の策定により、全職員・スタッフの意識の統一及び業務の標準化を図る。   |
| 適正な業務管理や経理（明瞭性、規律性）   | 下関市都市公園条例及び関係法令に基づき、適切に事務手続きを行う。また、年間の事業実施計画及び個人情報の保護や緊急時の対応に関する各種マニュアルに基づ   | 各年度を通じて、施設機能を活かした事業計画を段階的に推進し、持続可能な住民サービスの向上を図る。<br>本公園のすべての資産を厳重に保管・管理し、公金意識  |

|                   |  |   |
|-------------------|--|---|
|                   | き適切に実施する。  | に基づく創意工夫を凝らした経費縮減策により、市や市民、関係各所等との信頼関係を構築する。  |
| 安全管理、緊急時等の対応（安全性） | 安全性の確保を最重要課題の一つと認識し、「事故ゼロ」を目標に掲げ、「日常の予防徹底」、「安全啓発と声掛け」、「救命能力の確保」、「情報共有と改善」に取り組む。また、緊急時には、事故対応マニュアル等に基づき適切に対応する。 | 想定されるリスクに対し、事前に安全対策措置を講じ、すべての人の安全性を確保する。また、適切な安全措置、安全管理に関する各種研修・訓練の実施、保険への加入による事前のリスクヘッジを行う。                          |
| 環境、障害者等への配慮（社会性）  | 福祉政策を重要な柱と位置づけ、地域の福祉関係団体等と協働し、インクルーシブフェスタを開催する等、福祉活動に取り組む。また、障害者を雇用するとともに、障害者雇用や就業に向けた支援に取り組む。                 | 社会貢献につながるような取り組みも積極的に行い、周辺環境や地域住民等にも配慮した管理運営を目指す。また、環境配慮行動として、生物多様性の保全、環境負荷の軽減、快適体感空間の創出、カーボンニュートラルの実現、地域との協働推進に取り組む。 |
| 経済性               | 提案価格<br>令和8年度 92,000千円<br>令和9年度 92,500千円<br>令和10年度 92,980千円  | 提案価格<br>令和8年度 92,980千円<br>令和9年度 92,980千円<br>令和10年度 92,980千円   |
| 自主事業              | 市民が公園を日常的に利用し、親しみ、誇りを持てる機会を創出することを目的とし、自主事業を実施する。スポーツに限らず環境美化、健康推進、自然観察、地域交流等、文化的活動も幅広く展開する。                   | 人と地域の「つながりの芽」を育み、利用促進・拡大のため、自主事業を実施する。スポーツ振興、健康促進、地域コミュニティ形成の促進を中心とし、「最高の感動体験」を提供することで、公園の未来を利用者等と共に創する。              |